

第4回目黒区住宅政策審議会小委員会における審議について

目黒区住宅マスタープランの改定に向けて

① 答申「中間のまとめ」に対する区民意見等と対応について

■ 対応区分について

- ・ 対応区分7の「区へ伝えます」は、「区の担当部署に伝えます」で良いと思う。
- ・ 対応区分3と5を分ける必要があるのか。
- ・ 対応区分を7つに分けているが細かいのではないか。
- ・ 答申に反映するか、しないかを伝える必要があるのか。対応区分5は、「今後審議を進める際の参考とします」でいいのではないか。
- ・ 「中間のまとめ」についての意見なので、答申に反映するかどうかを書くのは違和感がある。
⇒区が行うパブリックコメントは素案に対しての意見なので、案に反映するかどうかを書いている。
- ⇒区が行うパブリックコメントの対応区分に沿っている。審議会の意見を踏まえて変更する。

■ 公表について

- ・ このまま公表するのか。
⇒審議会小委員会のための資料である。どのような形で公表するか、審議会で議論してもらう。前は2ページ程度にまとめた。意見に対して個別の回答は行わない。
- ・ 意見に対してフィードバックがないと意見を出さなくなる。ヨーロッパでは出された意見はすべて公表されてフィードバックされている。これを繰り返すと変な意見は出なくなるし、行政のことを理解する機会になる。
- ・ 答申案を作成するのであれば、区民の主体性が育まれるようなものにして欲しい。
⇒答申案に対して区民意見募集はしない。中間とりまとめが素案という位置づけである。住宅マスタープランについては素案についてパブリックコメントを行い、公表をしている。
- ・ 区の他の審議会が作成する答申については、中間の段階でほとんどが区民意見を募集していないので、区民も計画や施策に対する意見と混乱している。
- ・ 「公表する」とも、「しない」とも言っていないので、このまま公表することもできる。
- ・ 区民意見に対してやりとりしたことを出したほうが良い。

■ 対応（案）について

- ・ 対応区分「5」について「今後、審議を進める際の参考とします。」は書かなくていい。
- ・ 冒頭に意見に対するお礼と、「基礎調査は答申と一緒に公表する」と書けば良いのではないか。
- ・ 整理番号7については、審議会に出ていない人には伝わらない。対応区分だけを示せば良いと思う。
- ・ 対応（案）はいらないのではないか。備考で良いのではないか。
- ・ 個人・団体の区分はいらないのではないか。
⇒「対応（案）」を「備考」にし、整理番号1番と8番に書く。個人・団体の区分については審議会資料では割愛する。

■ 住宅の定義について

- ・ 住宅の定義については冒頭の「答申にあたって」に入れてはどうか。
- ・ 「答申にあたって」を見直して簡潔にし、目黒区の住宅政策は単に箱をつくることだけではないという考えを入れておく。
⇒住宅の定義は、「答申にあたって」に書く。

②答申（案）について

■定住意向の表現について

- ・4ページで変更した定住意向の表現は「60代以上は9割以上になっている」という表現で良いのではないかと。「他の世代より高い」などの表現にする。
- ・今の住まいに対する定住意向なのか、目黒区に対する定住意向なのか。
⇒設問は「目黒区に住みたいか」となっている。

■区民意見募集について

- ・区民意見を募集したことを審議経過に入れる。区民意見についても入れるか。
⇒区民意見については要約版を入れておき、要約しないものも用意しておく。審議会で議論してもらう。

③基礎調査について

■基礎調査の修正について

- ・第4章については、タイトルを「基礎調査の分析」としてはどうか。また、冒頭に現在のマスタープランのカテゴリーに応じて書いていることを示す。
- ・目次に細項目まで入れてほしい。
- ・出典は「目黒区ホームページ」という書き方ではなく、細かく示して欲しい。

■東京都の答申について

- ・東京都の答申について内容を書かなくて良いのか。
- ・マンション登録についてはどういう表現になったか。
⇒都ではマンション課がやっていて、住宅マスタープランからは独立したものになる。答申にはあまり入っていない。マンション調査については、現在モデル区で実施しているようである。

■国の答申について

- ・国交省の住宅セーフティネットの答申が出ると聞いている。基礎調査の報告書に入れるかどうかは検討して欲しい。
- ・国交省が予算化している改修費用や家賃の一部の補助は、指定している住宅に限定されることになるようだ。まだ、全体の枠組みが見えない。
- ・まち・ひと・しごと総合戦略についてファミリー世帯の家賃助成を位置付けているが、国から補助金が出るのか。
⇒出ていない。既存事業に対する補助は難しいようだ。

■基礎調査の公表について

- ・基礎調査は目黒区が実施しているため、答申と併せて公表するのはおかしいのではないかと。
- ・答申は基礎調査を参考にしたということをどこかに書いてはどうか。
⇒基礎調査は参考資料とする。
- ・基礎調査は即時、全部公表するというのがよいのではないかと。関心ある人が見られるようにしておいた方がよいのではないかと。
- ・他の区で住宅データブックとして公表しているのだから、そのような方法があるのではないかと。
⇒他の調査報告書との関係もあるので、どのように公表するかは持ち帰らせて欲しい。今回、審議会の参考資料として公表することは問題ない。

その他

- ・住宅マスタープラン策定について、審議会は今後どのように関わるのか。
⇒ご意見をいただくことになる。